

学科名	デザイン科
コース名	イラストレーション専攻
授業科目	イラストレーション実習3(1)
必選	選
年次	3年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	60(120)
単位数	2(4)
担当教員	ローガン ハザード
実務経験	有
実務経験職種	イラストレーター/アーティスト
授業概要	イラストの構図やデザイン理論、色彩理論などの高度なイラストスキルを学び、内容を表現する
到達目標	生徒は、絵の要素を巧みに組み合わせて視覚的に興味深いイラストを作成する方法を学びます
授業方法	すべてのクラスに理論が説明され、過去のマスターイラストレーターによる素晴らしいイラスト作品の例で示されます。その後、生徒はクラスや特別な課題を通じて学んだプロセスとテクニックを練習します。
成績評価方法	すべての練習課題の完了に加えて、クラスへの出席とクラスでの努力が最も重要です。
履修上の注意	生徒は、巧みなイラストを描くことを学ぶことに真剣に関心を持ち、改善するためにテクニックを練習する努力をしたいという願望を持っていることが不可欠です。
教科書・教材	必要な参考資料はすべてクラスで配布されます

授業計画	
第1回	構図論理の基本
第2回	構図論理：三段奥行き
第3回	構図論理：線デザイン
第4回	構図論理：明度
第5回	構図論理：色彩
第6回	イラストプロセス: 構図スケッチ
第7回	イラストプロセス：参考資料の使用
第8回	イラストのプロセス：下絵
第9回	イラストプロセス：カラースケッチ
第10回	イラストプロセス：最終的なイラストを完成させる
第11回	イラスト課題
第12回	イラスト課題
第13回	イラスト課題
第14回	イラスト課題
第15回	イラスト課題

学科名	デザイン科
コース名	イラストレーション専攻
授業科目	イラストレーション実習3(2)
必選	選
年次	3年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	60(120)
単位数	2(4)
担当教員	井上奈奈
実務経験	有
実務経験職種	画家/絵本作家
授業概要	この授業では自己のイメージを一冊の絵本として表現することを学ぶ。自己を追求しつつ、絵本特有の公共性も取り入れながら作品制作をすすめる。課題の制作過程においては積極的に発案・コミュニケーションをとることで完成度の高い本作りを目指す。
到達目標	以下、二つを習得する 1. ストーリーの立案や構成力・製本技術・プレゼン能力を習得することを目的とする。 2. 表現力の向上・読者を意識し客観的に自分の作品を見る洞察力を養い、制作を計画的に進めていくスケジューリング力や、イメージを形にしていくために他者に意図を伝達するコミュニケーション力を身につける
授業方法	前期を通して、1冊の絵本の完成を目的とし、物語制作、絵本独特の絵の描き方、製本の方法など、毎授業目標を設け習得していく
成績評価方法	プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 60% 提出課題完成度を総合的に評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	授業中の受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない
教科書・教材	毎回授業にて資料配布を行う 持ち物については、各回にて指示する

授業計画	
第1回	例／絵本を知る 自己紹介を兼ねた絵本紹介 後半/絵本ワークショップマナーの5大原則について理解し、ロールプレイングを通してお辞儀のポイントを習得する
第2回	1年を通して作るテーマを見つける 物語作り→発表
第3回	前半/本番の物語を制作する 後半/ラフ本作りを体験する
第4回	前半→ラフ本制作→（随時個人面談） 後半→発表→講評
第5回	前半/後半→ラフ本制作（随時個人面談 OKが出たひとから本番に）
第6回	前半/後半→ラフ本制作（随時個人面談 OKが出たひとから本番に） 後半 文字の入れ方を学ぶ
第7回	前半 本番制作 後半 途中経過報告→講評（随時個人面談）
第8回	前半 本番制作 後半 途中経過報告→講評（随時個人面談）
第9回	前半 表紙制作 後半 表紙文字の入れ方を学ぶ
第10回	前半 本番制作 後半 途中経過報告→講評（随時個人面談）
第11回	前半 本番制作 後半 途中経過報告→講評（随時個人面談）
第12回	表紙制作
第13回	デザイン作業
第14回	製本
第15回	プレゼン→講評